

車車間通信を用いた車線変更にともなう交通流の円滑化を図るモデルの提案と実装

高砂智紀、高橋和子

本研究は、幹線道路の交通状況において、車線変更を行う情報と脇道から幹線へ進入する情報をその影響を受ける車が事前に共有することにより交通流の円滑化を図るものである。安全な走行は勿論のこと車線変更、幹線進入時に全体の交通流をスムーズなものにするべく、方向指示器による車線変更の意思表示をする以前に、車線変更や幹線進入に関する情報を隣接する車線にいる車に受け渡し、意志疎通による協調を可能にしたモデルを提案する。交通シミュレータを実装して試行を行った結果、車線変更、脇道から幹線への進入に関する双方の通信を伴うモデルが有効であるということがわかり、提案手法によって交通流の円滑化が図れることが示された。